

青木 頼子 准教授  
博士

Yoriko Aoki

✉ yoriko.aoki@komatsu-u.ac.jp

研究  
Keyword意思決定支援、意思決定ガイド (Decision aid)、  
地理情報システム (GIS)、高齢者、脳卒中

## プロフィール

2020年 聖路加国際大学大学院 看護学研究科 博士後期課程修了  
2001年 金沢大学附属病院 看護師  
2008年 富山大学 学術研究部医学系 助教  
2025年 公立小松大学 保健医療学部 看護学科 准教授

## 研究分野

老年看護学 / 看護情報学

## 所属学会

日本看護科学学会、日本老年看護学会、日本看護研究学会、日本医療情報学会、日本公衆衛生学会

## 専門分野・研究分野

高齢者が納得した意思決定を  
家族や医療者と一緒に行うにはどうしたら良いのか？

脳卒中に罹患した高齢者の退院先の意思決定場面では、本人が意思決定に参加できないまま希望の場所に帰れず落胆する場面に何度も遭遇する。さらに施設の種類や社会サービスが多様化する中で、医療と福祉の情報量の多さが意思決定を困難にしている。これを解決するため、意思決定を促進できるように構造化された価値観に基づく意思決定ガイドを開発しその効果を検証したところ、不安の解消、参加率低下の抑制、価値観を明確にする効果が得られた。今後、高齢者が、家族や医療者と情報や意思決定プロセスを共有し、双方の納得のもと満足した意思決定ができるよう貢献したい。

## 研究内容

「高齢者と家族の意思決定支援」と  
「GISを用いた社会サービスの充足度」

## 1. 脳卒中高齢者と家族の価値観を基盤とした退院先選択のための「意思決定ガイドWEB版」の開発

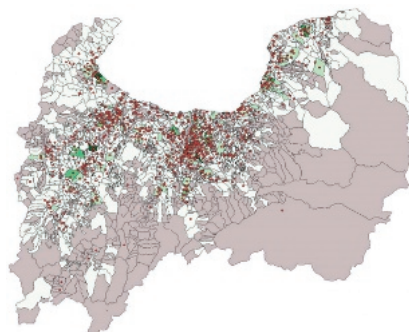
紙媒体の意思決定ガイドは、個別性を重視すれば情報量が増えることになり、一般性を重視すれば価値観の重要度に差がつかないという課題を残している。そこで、人工知能 (AI) を融合した「意思決定ガイド Web 版」の開発に取り組んでいる。

## 2. 地理情報システム GIS を用いた社会サービスの充足度

脳卒中に罹患した患者は、要介護状態となりやすく、退院先や退院後の生活の質は、利用できる社会サービスから影響を受けやすい。しかし、多死社会による人口の歯抜け減少により、患者が広範囲に点在するため、効率的で質の高いサービス提供体制が喫緊の課題である。そのため、GIS を用いて脳卒中患者の人口、事業所が空間的にどのように分布しているのかを分析し、社会サービスの過不足している地域の特定を行っている。



1. 意思決定ガイド



2. GISを用いた脳卒中患者人口と事業所のプロット図



## 高齢者の意思を大切にする

## シーズ・地域連携テーマ例

- 高齢者と家族の意思決定支援
- 地理情報システムGISを用いた社会サービスの充足度

## 受賞

- 日本リハビリテーション看護学会奨励賞 (2018)

## 論文

- Aoki, Y., Nakayama, K., & Yonekura, Y. (2024). A randomized controlled trial on the effects of decision aids for choosing discharge destinations of older stroke patients. PLOS ONE, 19 (1), e0272115.
- Aoki, Y., & Nakayama, K. (2022). Development of a values-based decision aid to determine discharge destination: Case reports of older stroke survivors and their families. Medicine, 101 (41), e30934.
- Aoki, Y., & Nakayama, K. (2022). Improving older adults stroke survivors' decision-making when selecting a discharge location: A randomized controlled trial protocol. International Journal of Nursing Knowledge, 34 (3), 185-192.

## 書籍等出版物

- 青木頼子 (2021). 脳卒中高齢者のケアとリハビリテーション—脳卒中高齢者と家族の意思決定支援—. 臨床老年看護, 28 (4), 40-47.
- 竹内登美子 (編著), 青木頼子ほか (2015). 脳神経疾患で手術を受ける患者の看護. 医歯薬出版. (第5章 水頭症患者の周手術期看護, pp.138-149).

## 講演・口頭発表等

- Aoki, Y., Nakayama, K., & Yonekura, Y. (2022). Conflict and participation effects caused by decision aids in choosing discharge destinations for elderly stroke patients: Randomized controlled trial. 22nd Society for Medical Decision Making 44th Annual North American Meeting.
- 青木頼子, 中山和弘 (2018). 回復期リハビリテーション病棟における脳卒中高齢者の退院先選択のための意思決定ガイドの開発. 第38回日本看護科学学会学術集会 (愛媛).

## 競争的資金等の研究課題

- 脳卒中高齢者の価値観とAIを融合した「退院先選択時の意思決定ガイドWeb版」の開発. 科学研究費助成事業 基盤研究 (C), 研究代表者, 2023-2026.
- 臨床実用化に向けた「退院先選択のための意思決定ガイド」の効果検証と標準化への提言. 科学研究費助成事業 基盤研究 (C), 研究代表者, 2019-2024.
- 高齢者本人と家族の意向を尊重した療養場所選択のための意思決定支援ガイドの開発. 科学研究費助成事業 若手研究 (B), 研究代表者, 2015-2020.
- 意思表示できない脳血管疾患患者の高齢配偶者が行う代理意思決定プロセスのモデル構築. 科学研究費助成事業 若手研究 (B), 研究代表者, 2010-2012.

## 社会貢献活動

- 看護記録研修会講師 (富山県リハビリテーション病院・こども支援センター) (2019-2023)
- 看護研究講師 (富山県立富山いずみ高等学校) (2011-2016)